

日本語教育機関教育活動評価 (自己点検・評価報告書)

日本語教育機関名：JLC 教育学院

点検・実施日：2024 年 10 月 10 日

【評価項目】

◎校長が以下の項目の実践状況を 5 段階で評価する

- 5：達成している
- 4：ほぼ達成している
- 3：どちらともいえない
- 2：取り組みを検討中
- 1：改善が必要

1. 教育理念・目的等

- 〔 5 〕 学校の理念・教育目標・目標とする人材像は定められているか
- 〔 5 〕 理念に基づく教育が行われているか
- 〔 5 〕 学校の特色が明確になっているか
- 〔 5 〕 理念と教育目標が、教職員・学生に周知されているか

<現状・具体的な取り組み／課題>

本校は、日本語教育を通じて日本語や日本文化に対する理解を深め、大学や専門学校への進学への橋渡しを行い、日本語能力試験、日本留学試験対策を通して、大学、専門学校への進学率 100%を目指し、豊かな国際性を備えたグローバルな人材を育成するという理念・教育目標を明確に定めている。このことは、Web サイトでの公開はもとより、学生募集等で配布する学校パンフレットにも記載されており、入学時のオリエンテーションにおいても学生マニュアルを配布し、学生に対して説明を行っている。教育理念と目標は、今後専任教員と非常勤教員が参加する講師会議においても、全員の理解と共有を徹底する。

2. 学校運営

- 〔 5 〕 運営方針は定められているか
- 〔 5 〕 事業計画は定められているか
- 〔 4 〕 運営組織や意思決定機能が確立され、効率的なものになっているか
- 〔 5 〕 人事・賃金・福利厚生といった処遇・職場環境の改善に関する制度は整備されているか
- 〔 4 〕 情報システム化等による業務の効率化が図られているか
- 〔 4 〕 学校運営を客観的に評価し、向上させる機能が整備されているか

- [5] 危機管理体制は整備されているか
- [5] 施設・設備は教育の必要性及び安全確保に十分対応できるように整備されているか

<現状・具体的な取り組み／課題>

機関の管理運営に関しては「日本語教育機関の告示基準」に則り、適切に運営されている。職員の昇給・賞与は、評価体制、評価方法及び評価基準が適切に定められて実施されている。今後、評価方法及び基準を公開する予定である。職場環境の改善については、職員同士の横の繋がりや業務協力、意見交換等を円滑にし、風通しの良い環境づくりに努める。事務作業は、業務の効率化や正確さを図り、情報システムを導入する予定がある。

災害時対応については入学時のオリエンテーションでの説明及び定期避難訓練を実施している。情報漏洩等に関しても情報システム担当を中心に適切に対応している。施設・設備は、法令上必要な設備等を備えている。

3. 財務

- [5] 中長期的に学校の財政基盤は安定しているか
- [5] 予算・収支計画は有効かつ妥当か
- [5] 財務について会計検査が適切に行われているか

<現状・具体的な取り組み／課題>

財務状況はコロナ禍で学生数が少なく厳しい状態が続いたが、中長期的には安定している。予算・収支計画の有効性及び妥当性は次年度を目途に達成する見込みである。適正な会計監査が実施されている。財務情報公開の体制整備は現在検討中である。

4. 教職員

- [5] 校長、主任教員、教員は「日本語教育機関の運営に関する運営基準」で定められた要件に適合しているか
- [5] 教育理念・目的が教員間で共有されているか
- [5] 教育の質を向上させるための取り組みが確立されているか
- [5] 教職員評価を行っているか

<現状・具体的な取り組み／課題>

校長、主任教員、教員は、「日本語教育機関の運営に関する基準」で定められた要件に適合している。今後、教育理念と目標は、今後専任教員と非常勤教員が参加する講師会議を通して、全員の理解と共有を徹底する。また、教員及び職員の質の向上に向けて体制を整備し、学内外の研修参加を促す。また、新任教員には着任後、新任研修を行い、指導力の向上に努める。教職員評価は、定期的実施しており、今後は、評価基準を開示して、教職員の自己評価も含め、教員の啓発と改善に努める。

5. 在留管理と生活指導

- [5] 担当者は研修受講等により適切な情報取得を継続的に行っているか
- [5] 入国・在留関係の管理・指導が適切に行われているか
- [5] 学生が日本社会を理解するための支援が適切に行われているか
- [5] 日本の法令を遵守させる指導を行っているか
- [5] 常に最新の学生情報を把握しているか

<現状・具体的な取り組み／課題>

在留管理担当者は出入国在留管理庁により認められた申請取次者の資格を有している。研修受講等により、最新の情報収集ができる体制がとられている。在留に関する学生の最新情報を、正確に把握し管理している。入管法上の留意点について、学生への伝達・指導等を定期的に行っている。

生活指導者を中心として、教職員が学生と積極的にコミュニケーションをとり、学生の様子を把握しサポートする体制を整えている。問題のある学生については個人面談、そして現地学校の担当者、経費支弁者と連携しながら指導を行っている。

6. 教育環境

- [5] 教育機関として適切な位置環境にあるか
- [5] 教室、その他の施設は、「日本語教育機関の運営に関する基準」に適合しているか
- [5] 教室内は十分な照度があり、換気がなされているか
- [5] 全ての教室は、語学教育を行うのに必要な遮音性が確保されているか
- [5] 授業時間外に自習できる部屋が確保されているか
- [5] 教育内容及び学生数に応じた図書やメディアが整備され、常時利用可能であるか

<現状・具体的な取り組み／課題>

校地・校舎は「日本語教育機関の運営に関する基準」に適合し、法定上必要な設備等が備えられている。今後は、学生に対する消防設備の使用方法的説明等を実施する予定である。

教室内は十分な照度があり、換気がなされている。また、各教室は遮音工事がされている。図書室は、コロナ感染拡大防止のため使用していなかったが、今後は、学生に開放するようにする。また、学生の要望を受け、自習室やリフレッシュルームを整備し、学生が学習に取り組みやすい教育環境づくりに努めていく。

7. 教育活動

- [5] 教育理念等に沿ったコース設定が行われているか
- [5] 教育目標達成に向けた教育内容、教育方法及び進度設計がなされているか
- [5] カリキュラムは体系的に編成されているか
- [5] 教育内容及び教育方法について教員間で共通理解が得られているか

- 〔 5 〕 教育目標に適合した教材が選定されているか
- 〔 5 〕 授業評価の実施・評価体制はあるか
- 〔 5 〕 目標に向け授業を行うことができる要件・資質を備えた教員を確保しているか
- 〔 5 〕 学習理解の到達度の確認はなされているか、成績評価は適切か
- 〔 5 〕 成績評価は適切に行われているか
- 〔 5 〕 各種日本語試験の認定率向上のための指導体制は整っているか

<現状・具体的な取り組み／課題>

本校の設立理念及び教育目標に合わせ、進学2年コースと1.5年コースを設定している。各コースの教育目標に合わせ、カリキュラム及び教材選定を行っている。学期開始前の講師会議にて教育内容及び教育方法を全教員に伝達している。今後は、教員に対して、担当する学生の学習目的、入学試験の結果、学習歴等指導に必要な情報も伝達するようにする。また、カリキュラムと教材の改善のために、定期的に教務主任を中心とした使用教材に関わる会議を行う予定である。

授業評価は、設置者や教務主任が定期的に授業参観を行い、授業実務の監督、指導、評価を行っている。学生による授業アンケートも実施している。これらの結果は各教員に提示し、教育内容や方法の改善、教員の教育能力向上の取り組みに反映するように努める。

教員資格は、募集の段階において法に定められた要件をチェックして、模擬授業及び面接を通して質の高い教員の確保に努めている。また、担当時間数、担当レベル等は、教員の能力や経験を考慮の上決定している。

成績評価は、年2回の期末テストの他、理解度確認のための小テストを適宜に実施し、試験の点数、成績、評価は学生に伝えている。今後、成績判定基準及び判定方法の妥当性を検証し、改善に努める。

日本留学試験、日本語能力試験等の試験対策について指導体制が整えている。

8. 学生支援

- 〔 5 〕 進学・就職指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか
- 〔 5 〕 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか
- 〔 5 〕 学生の心身の健康管理・事故・怪我サポートを担う体制があり、有効に機能しているか
- 〔 5 〕 健康診断を定期的に行っているか
- 〔 5 〕 住居やアルバイト等、学生の生活環境への支援は行われているか
- 〔 5 〕 保護者と適切に連携しているか

<現状・具体的な取り組み／課題>

進学指導に関する体制の整備に力を入れ、有効に機能するように努める。事務局を窓口とした学生支援体制を整えている。休日や長期休暇中も SNS やメール、電話等で常に対応できる体制を整えている。入学時のオリエンテーションでは学生の母国語で学校規

則や日本で生活するために必要な知識を説明している。長期休暇の前も休暇の過ごし方について指導を行っている。住居やアルバイトについては、個別に相談及び支援する体制を整えている。学生のアパート先とも連絡を密にし、就労先での労働時間超過やトラブルが起きないように常に確認し、指導している。交通事故等については事務局を窓口として、速やかにサポートできる体制を整えている。健康診断は定期的に行っている。学生の生活状況については、定期的に個人面談を行い、確認している。出席不良や学習態度に問題がある学生については、クラス担任を中心に指導を行い、必要があれば母国の保護者に連絡をとって、問題解決、改善に取り組んでいる。

9. 学生の募集

- [5] 理念・教育目標に沿った学生の受け入れ方針を定めているか
- [5] 学生募集活動は適切に行われているか
- [5] 学生募集活動において、教育成果は正しく伝えられているか
- [5] 入学選考は適正かつ公平な基準で行われているか
- [5] 適正な定員設定及び在籍者数になっているか

<現状・具体的な取り組み／課題>

学生募集については、本校では選考基準を設けて、信頼できる現地のエージェントと事前の協議を通して募集活動を行っている。書類選考後、合格者に対してWEBで面接を行い、日本語能力だけでなく、学習意欲及び経費支弁者の支弁能力について確認している。今後は学生の成績、卒業の進路を現地の入国希望者にも伝えてもらう予定である。

定員設定及び在籍者数が適正になっている。定員の設定及び在籍者数は適正に管理されている。

10. 教育の成果

- [5] 日本語能力試験、日本留学試験等の結果を把握しているか
- [5] 進級及び卒業判定が適切に行われているか
- [5] 学生の卒業後の進路を把握しているか

<現状・具体的な取り組み／課題>

日本語能力試験、日本留学試験の結果は全教員に共有するように努める。進級及び卒業判定は教員会議で行う。卒業生の進路や状況を把握している。今後は、内部で情報の共有に努める。

11. 法令等の遵守

- [5] 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
- [5] 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか
- [5] 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか
- [5] 自己点検・自己評価結果を公開しているか
- [5] 関係省庁への定期報告を遅延なく実施しているか

<現状・具体的な取り組み／課題>

法令遵守については、適宜周知している。資料整理場所を定め、重要書類の保管場所は施錠し、個人情報に関わる書類は使用后シュレッダーにかけて廃棄処分している。自己点検・自己評価は、コロナ禍による留学生の入国制限で学生数が極端に少なかったため行っていなかった。今回は初めての実施であり、今後も定期的の実施し、結果を公開し、問題改善に努めるである。

12. 安全・危機管理

- [5] 対象となる学生全員が国民健康保険に加入しているか
- [5] 重篤な疾病や傷害のあった場合の対応を定めているか
- [5] 感染症発生時の措置を定めているか
- [5] 防災用品が備蓄されているか
- [5] 災害発生時の避難方法、避難経路、避難場所を定めているか
- [5] 災害等に対する避難訓練を定期的の実施しているか

<現状・具体的な取り組み／課題>

感染症の疑いがある場合は、病院へ行くよう指導し、学校保健法に従い出席停止期間を定めている。急病や災害への体制を備えるため、職員に緊急時救命講習を受けさせ、AEDを設置する予定である。災害発生時の避難方法、避難経路、避難場所を定めており、講師会議で全教員に周知している。避難訓練は定期的の実施している。今後、教員と学生を対象とした防犯や防災基本知識、消火器の使い方についての講習を行う予定。また、不足している防災用品を補充する予定。

13. 近隣住民との共生と社会貢献

- [4] 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか
- [2] 学生のボランティア活動を奨励・支援しているか
- [3] 近隣住民や教育機関、地域の国際交流団体等との交流行事を企画・実施しているか

<現状・具体的な取り組み／課題>

現状では、名古屋市の教育資源や施設が十分に活用されておらず、学生のボランティア活動もあまり行われていません。そのため、今後は学生が地域の一員としての自覚を持てるような活動を企画し、地域社会との交流を積極的に推進していきます。